

3. きょうどを開く

(1) 田畑を開く（関本地区）

いまからおよそ50年くらい前、関本地区は山根村の中に入っていました。そのころは、せんそうのため生活はくるしく、子どもたちもベンきょうどころではなく校ていをほりおこしていもなどをつくるほどでした。

そこで、村では「山根かいたく^{くみあい}組合」をつくり、大たきね山やひ山、かまくら山、でんじょう山などをきりひらいて田畑をつくることにどりよくしました。

かいたくは、せんそう前からもおこなわれ、山をきりひらいてすみやいたり、あわやそばをつくったりしました。山をきりひらいて^{さくもつ}作物がさいばいできるようになるまでは、たいへんなくろうをしました。みなさんのおじいちゃんやおばあちゃんにそのころのお話をきいてみましょう。

